

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2~4	以前、地域の催しに参加したが、グループホーム及び認知に対する知識不足のため、「汚い」「来ないでほしい」との言葉を言われ、繋がりが途絶えた。毎回民生委員や自治会長への参加を要請するものの、毎回不参加、理解して頂くチャンスがない。	民生委員や自治会長に拘らず、この地域の様な方でも参加、理解して頂けるように求めたい。	老人会会長が理解を示して頂いたため、催しや会議、ボランティア参加に呼びかけ、施設側から情報発信をしたい。	12ヶ月
2	51	毎月おたよりを発信しているが、利用者の日々の生活が分かりずらいため、再度見直し。	訪問されないご家族のみならず、より理解され、おたよりを見て1家族でも訪問されるようにする。	一人ひとりの日々の生活や薬や病気等、色々な変更になっている事をより詳しく、個々の状況のおたよりを作成発信。	12ヶ月
3	6・7	現状、身体拘束・虐待・スピーチロックはないが、利用者の症状や病状により、理解や把握が気薄になりがちとなる。	常に心がけ、詳細な事まで気づき、他施設等の実例を挙げながら研修を行う。	どこからどこまでが全ての拘束になるのかを勉強し、職員の向上、及び家族の理解を踏まえながら研修を行う(方言やなまり等も含める)。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。